

# 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会

## 第9回例会

### 議事次第

日時：平成22年4月15日（木）

13:30～15:30

場所：箕面市立 グリーンホール2階

#### 議題：

1. 平成22年度の活動計画について
2. 「エキスポの森」植樹行事への協力について
3. その他

# 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会 2010年度（平成22年度）の主な活動計画（案）

## ■2009年度、活動の概要

2009年4月23日に「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」を設立し、箕面国有林を対象として、自主的な活動により同休養林の整備・管理及び活用を促進するとともに、関係者の連携を密にしつつ対話と協働的な取り組みを開始しました。意見交換・情報交換のために同協議会例会を8回開催するなど活発に活動を行い、行政・市民団体、及び箕面公園管理事務所などの情報の共有化に努め、対話と協働の仕組み創りやネットワークの構築に一定の成果を挙げる事ができました。また、「箕面の森シカ害対策研究フォーラム」の開催や「箕面自然調査会」の活動各種イベントでのPR活動などを行うとともに、「オオクワガタの棲める森づくり」の活動や「箕面の山パトロール隊」「箕面里山工房」などの活動と連携するなど、協働的な取り組みを行いました。

さらに、2010年度に向けての重点方針の明確化や、具体的な取り組みの計画策定による積極的な活動の推進が求められています。

## ■2010年度、主な活動計画（案）

「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」は、明治の森箕面自然休養林（箕面国有林）を対象として、自主的な活動により同自然休養林の整備・管理、及び活用を円滑に行うことを目的として、以下の活動に取り組みます。

### 1、明治の森箕面自然休養林の環境整備・保全

（特に、自然景観と生物多様性の確保に配慮した森林環境の整備）

- (1) 生物多様性確保に配慮し、清水谷の草本を含めた植生維持保護を目的としてシカ防護柵やネット設置などによるシカ害対策を実施します。
- (2) 看板、道標など簡易な施設整備、及び既存施設の維持管理・修繕を行います。
  - \* 「箕面の山パトロール隊」「箕面の山緊急ポイント設置実行委員会」「みのお里山ふれあいプラットフォーム」の看板、道標の整備
  - \* 「箕面里山工房」によるベンチやテーブルなどの施設整備
- (3) 自然景観の眺望確保のための枝落としや間伐などの林内整備を行います。
  - \* 森林管理事務所による林内整備と「箕面自然調査部会」の協力
- (4) 「箕面の山パトロール隊」の主催による山地美化を目的とした「箕面の山大掃除大作戦」に協力します。

### 2、明治の森箕面自然休養林の活用（ソフト対策の実施に関わるもの）

- (1) 構成団体による自然観察会やクリーンハイキングなど各種イベントを継続的に実施し、同休養林の持続的な活用強化を図ります。
- (2) 市民・府民のニーズにあわせて、同休養林の新規活用に取り組みます。
  - \* 子供を対象とした森林環境教育の取り組み、及びエキスポの森・勝尾寺園地を活用した「森のようちえん」の活動支援など

### 3、明治の森箕面自然休養林のPR、普及啓発

- (1) 明治の森箕面自然休養林に関するパンフレットの作成・配布を行います。
- (2) 市民団体、及び行政による同休養林内での活動のPR、及び活用の普及啓発のために、チラシ配布・ニュースリリース・ホームページの掲示板やイベントカレンダーへの書き込みなどを積極的に行います。
- (3) 箕面市周辺で行われる各種イベントに出展、協力し、同休養林のPR、活用のための普及啓発を積極的に行います。
  - \* 10月31日（日）山とみどりの市民イベント（かやの広場）など

4、明治の森箕面自然休養林の利用者の安全対策

- (1) 明治の森箕面自然休養林の安心安全に関する情報の集約と対策実施、広報の実施などの取り組み、及び役割分担のスキームづくりを検討します。  
 \*箕面ビジターセンター、及びNPO山麓委員会の山なみネットにより情報発信

5、明治の森箕面自然休養林のサポーターの募集・選定、及び活用

- (1) 明治の森箕面自然休養林の活用促進、及びサポーターの拡充を目的として阪急バスなどへの協力要請を行います。

6、生物多様性の確保に向けた植生調査、希少種の保護・増殖など

- (1) 「箕面自然調査会」による草本・木本などを対象とした報告書を作成します。  
 (2) 清水谷などにおけるシカ害調査のために、草本類の調査などを行います。  
 (3) 清水谷などにおける幼木や埋蔵種子などの確保に取り組みます。

7、その他、目的の達成に必要な事業

- (1) 箕面森林環境ふれあいセンターの事業との連携  
 「箕面体験学習の森」整備事業、及び「オオクワガタの棲める森づくり」事業との連携を強化します。  
 (2) 市民団体・行政関係委員の積極的な情報交換、意見交換の場として、例会を定期的開催し、活動の円滑な推進のための「情報の共有化」に注力します。  
 (3) 「箕面公園管理運営協議会」の活動と情報の共有化を図り、対話と協働的な関係を構築します。  
 (4) 自由な意見交換の場として情報公開を努め（一部、希少種の情報公開を除く）協働的な活動の担い手としての構成団体の拡充に努めます。

(以上)

■ 2010年度、収支予算（案）

(収入の部)

単位：千円

科目	予算額	備考
サポーター資金収入	300	2010年11月末予定
前期繰越金	273	
合計	573	

(支出の部)

単位：千円

科目	予算額	備考
事業費	500	パンフレット作成：150 シカ害対策：100 報告書作成：150 その他（*）：100 *看板・道標設置、ベンチ修繕 など事業実施に関わる費用
管理費	73	会議費・印刷費など：2943 NPO山麓委員会事務局費：30
合計	573	

(以上)

## 箕面自然調査会・打ち合わせ事項

「2010. 3. 29 ; 市民活動センター

出席者： 井ノ上・屋・鎌谷・桑田・小西・佐中・田畑・戸井・富田・中野・古沢・南

### 1. 箕面自然調査会の報告書作成について

- ・箕面市全体での取りまとめを行い、草本・木本・羊歯を対象とする。
- ・本年2010年4月までのデータを一括して、本年度中に取りまとめる。  
取りまとめは科別アイウエオ順に調査確認した種名を編集する。
- ・報告書の形式は、今後さらに煮詰めてゆくが、本会では、報告書は30頁程度で表紙・適当なところに写真（カラー）も入れては、配布先を検討する必要があるが、200部程度を目安に、中間報告としての位置づけ・などの意見が出された。
- ・標本については、今回の報告書では、そのありなしを取り上げないことにした
- ・園芸種、植栽などについては2008. 4. 21の打ち合わせ合意事項に従うこととした。
- ・図鑑は平凡社に準拠を基本とするが、平凡社図鑑に掲載されていない帰化植物については「帰化植物図鑑」（全国農村教育協会）を活用して対処する。

次回は **6月24日（木）午後1時半より**  
**：ビクターセンター図書室で**

- ・調査確認済み種の再チェック ・平凡社図鑑との突き合わせ
- ・未入力調査票からの要入力種の抜き出し
- ・報告書形式の詳細検討 などを 行う予定

### 2. 清水谷鹿害対策について

- ・植生維持保護するために木本だけでなくその周りの草本も含めて、柵で守る  
（フタバアオイのように）
- ・次回（4月例会）保護する場所を地図に落として優先順を番号で入れる。
- ・柵を設置するときに、告知看板を用意し「鹿食害の実証事業」として、位置づける
- ・事業は「協議会の事業として提案し」方策のさらなる具体化や、現地作業については、協議会の構成メンバーの支援のもとに行う。
  
- ・鹿害の調査については、109番から上の昨年仕残した場所の調査を予定し草本類の調査が少ないので、5月に草本類の調査を行う。

（文責：小西・中野）

以上

「オオクワガタの棲める森づくり」植樹祭  
〈H22.5.9イベント〉(案)

# 「オオクワガタの棲める森づくり」植樹祭 (H22.5.9 イベント) (案)

## 1 目的

大阪府の北部に近接する箕面国有林を含む北摂地域は、池田炭と呼ばれる茶道用の高級炭が生産されるとともに、オオクワガタなどの昆虫類が数多く生息するクヌギ等の落葉広葉樹林が広がっていました。炭づくりを行うために、短い周期で広葉樹の伐採を繰り返す里山としての整備が行われたことで、林内に様々な遷移段階の植生が分布し、昆虫の生息地として適した多様性に富む環境が整っていました。その後、昭和初期から高度経済成長期にかけて、建築用材等の需要が高まったことから、落葉広葉樹林からの樹種転換が行われた結果、現在ではスギ、ヒノキの人工林が大半を占めています。

このため、箕面国有林では、積極的な広葉樹の育成や伐採等による木材利用及び菊炭づくり体験等、子どもたちを対象とした森林環境教育のフィールドとして活用しつつ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上に資するため、「エキスポ '90 みのお記念の森 (エキスポの森)」を含む約 26ha を目的に応じゾーン分けし、「箕面体験学習の森」の整備を進めています。特に、展望台周辺を中心に箕面市内の小学生、幼稚園児、ボランティアなど、住民参加のもと、スギ、ヒノキの人工林からクヌギ、コナラなどの落葉広葉樹林への転換を図ることで、かつての箕面の森を再生する「オオクワガタの棲める森づくり」に取り組んでいます。

## 2 開催日時

平成 22 年 5 月 9 日 (日) 10 時 30 分 (受付開始) ~

※荒天の場合は中止

## 3 開催場所

箕面国有林 273 林班 (エキスポ'90 みのお記念の森) 展望台付近等  
式典開催は芝生広場

## 4 参加予定人数

209 名 (自動車 63 台)

## 5 タイムスケジュール

9:00 ~ スタッフ打合せ及び会場準備  
・ 集合場所は公園入口の舗装駐車場  
・ テントを 12 基設置 (前日までに組み立てて脚を折っておく。  
トイレと合わせリリースで検討中)

10:30 ~ 受付開始

11:00 ~ 11:30 式典 (開会式ほか、詳細は下記のとおり)

11:30 ~ 12:20 植樹行事 (カミネッコンへの苗木の移し替えを含む一連の作業を  
班別行動)

- 12:20～12:30 記念植樹及び記念標柱の除幕式  
12:30～13:00 昼食  
13:00～13:30 ミニコンサート  
13:30 植樹祭閉会  
14:00～ 後片付け（終了次第解散）

## 6 式典

### (1) 開会式 (11:00～)

主催者挨拶（計画部長）

「箕面体験学習の森」整備事業(Ⅱ)検討委員会代表挨拶

カミネッコンを使用した目的の説明、カミネッコン作成のデモンストレーションを行う。

### (2) 記念植樹及び記念標柱の除幕式 (12:20～12:30)

記念植樹は、計画部長、京都大阪所長、検討委員会代表、検討委員会部会代表、明治の森箕面自然休養林管理運営協議会代表により土入れを行う。

記念標柱の除幕は、当日は参加者の中から小学生にお願いします。

### (3) 彩さんのミニコンサート (13:00～13:30)

イメージソング「未来の森」ほかを歌っていただく。

### (4) 閉会挨拶 (13:30)

## 7 植樹行事の内容

### (1) 受付等

#### ① 受付

苗木育成申込番号等を確認し、名簿とチェックする。持参した苗木の樹種を判別し表示する。

閉会后、平成23年度春の植樹祭用として苗木育成の申込みを受け付け、苗木を渡す。

#### ② パネル展示ブース

京都大阪森林管理事務所の国有林PRパネル等を展示する。

### (2) カミネッコンへの苗木の移し替え等

班毎に、次の①から⑤までの作業を同一のテント内で行う。

#### ① カミネッコン組立

組立済みの完成品を置いておく。

#### ② 濡れ新聞紙の作製

コンテナボックスで新聞紙を濡らしておく。

#### ③ 新聞紙詰め

最初に乾いた新聞紙、次に濡れた新聞紙、最後に乾いた新聞紙の順に棒で詰め、

底紙を差し込んでガムテープで留める。

④苗木の移し替え

トコ箱に土を入れておき、そこで苗木をカミネッコンへ移し替える。  
不足する分の土を、カミネッコンの縁より1～2cm下まで入れさせる。

⑤水入れ

水を入れさせる。

(3) 植樹（植樹箇所へ移動）

①苗木の設置

各班の責任者が植樹箇所の班別プラカード付近まで案内する。  
苗木を目印杭（クヌギがピンク色、コナラが黄色）のところに置く。

②水やり

苗木の根本へ水を撒く。その後、苗木を挟むように中蓋をはめ込む。

③目印杭の処理

目印杭は植樹後、植樹済みの箇所と植樹がまだの箇所を確認しやすくするため、抜いて倒しておく。

抜いた目印杭は、植樹終了後に苗木を固定させるため立て直す。

以上の作業で植樹は終了。

(4) 記念植樹及び記念標柱の除幕式

引き続き記念植樹及び記念標柱の除幕式を行う。各班の責任者は、参加者に現地で待機してもらうよう誘導する。

①記念植樹

記念植樹は、多様な植生を目指す旨を説明し、ヤマザクラ、ウスズミ、ザクラ、ケヤキ、ムクロジを各1本ずつ記念標柱を中心として円形にカミネッコンをおく。

なお、エドヒガンは、記念植樹者全員で土入れを行う。

②記念標柱の除幕

記念標柱は、展望台周辺へ事前に立てておき、シートなどでカバーしておく、当日の参加者の中から小学生にお願いし、ひもを引いて除幕。

8 役割

(1) 駐車場係及び道案内係等

①駐車場係（10名）

公園駐車場及び園路脇に駐車させる。人員配置は、公演入口ゲート付近舗装駐車場及び土面駐車場の所に4名、花の谷入口東屋付近の所に2名、春の森付近から芝生広場までの所に4名。

駐車場係は、トランシーバーで連絡を取り合い、登り車、下り車で鉢会わないよう差配する。土面の駐車場係は満車となり次第、他の駐車場係を補助する。

舗装駐車場は10台分を一般来園者用、5台分をマスコミ用として確保しておく。



②道案内係（５名）

沿道のポイント毎にプラカードを立て、会場までの道案内を行う。

③バスの引率（２名）

〇ＡＰバス（大阪市北区）を利用し参加する者を引率する。

（２）受付（１０名）

芝生広場のトイレ付近に受付を設置し、参加者の苗木育成申込番号と氏名、参加者数を確認し、名簿をチェックする。

植樹祭のスケジュール等を渡す。

先着順に班の予定人数（２０名程度）に達するまで、班番号札を参加者に渡すとともに、その班番号を名簿に記載する。

持参した苗木の樹種を判別し、あらかじめテープで色分けした（クヌギがピンク色、コナラが黄色）ポリ袋に入れてもらう。

名簿に樹種及び本数を記載する。

閉会后、苗木育成の申込みを受け付け、苗木を渡し、名簿に申込みがあった旨（樹種及び本数も含む）を記載する。

（３）パネル展示（１名）

各種展示パネルを掲示し説明。

（４）濡れ新聞紙の作製（３名）

コンテナボックス、バケツにより新聞紙を濡らし、濡れ新聞紙の残量を把握しながら各班に補給する。濡れ新聞紙は事前に作り置きしておく。

（５）新聞紙詰め（３名）

基本的に各班の責任者が指導するが、植樹行事をスムーズに進行させるため、各班の濡れ新聞紙の補助及び新聞紙の補充を行う。

（６）苗木の移し替え（３名）

トロ箱１０個に土を補充し、各班の苗木の移し替えを補助する。

基本的に各班の責任者が指導する。

（７）クヌギ、コナラの植樹箇所への案内（４名）

１名は芝生広場からの入口で待機。残り３名は現地分岐点に配置し、植樹箇所に誘導する。

各班の責任者が植樹箇所の班別プラカード付近まで案内し、植樹を指導する。

（８）式典担当（６名：挨拶、記念植樹、司会、進行）

11:00 から 12:30 までの開会式、記念植樹及び記念標柱の除幕を担当し、それ以外の時間は各作業の応援に回る。

(9) ミニコンサートの進行（1名：式典担当が兼ねる）

彩さんが「未来の森」を作詞作曲することに至った経緯を紹介する。

(10) 各班の植樹責任者（20名）

各班2名（リーダーとサブリーダー）ずつ10班に配置し、作業の前、注意事項等を説明し、班毎のテントにおいてカミネッコンへの新聞紙詰め及び苗木の移し替え作業、植樹箇所の班別プラカード付近まで案内し植樹指導、記念植樹のところへ誘導、植樹標柱の除幕終了、芝生広場まで連れて帰る。

(11) カメラ撮影（3名）

芝生広場、植樹箇所、記念標柱設置等適宜移動し撮影を行う。

(12) マスコミ対応（1名：式典担当も兼ねる）

(13) 総括責任者（1名：式典担当も兼ねる）

(15) 救護担当（1名：ボランティア団体へ依頼中）

上記必要人数を集計するとスタッフは69名程度、うちボランティア団体から45名以上の応援をお願いしたい。

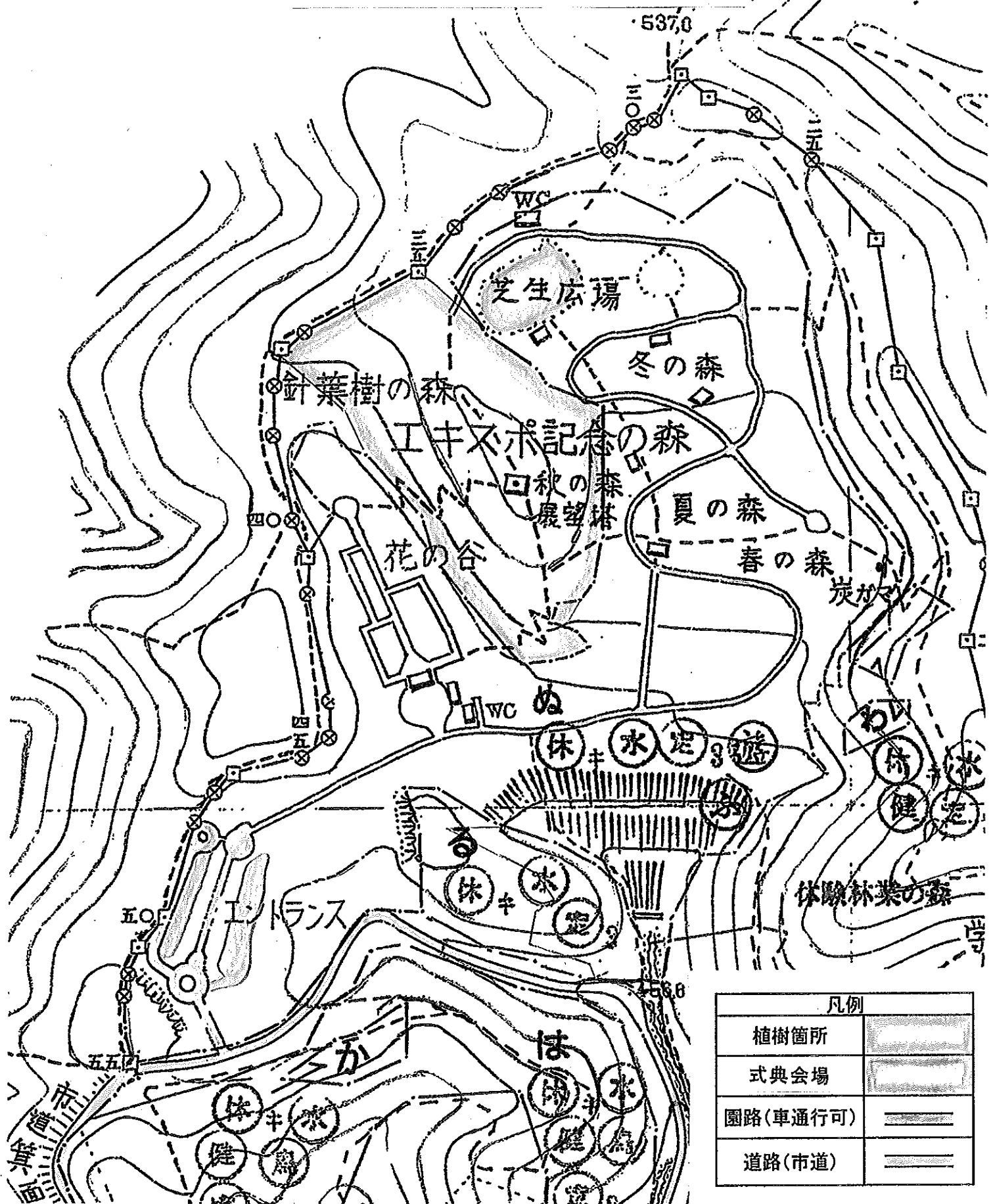
なお、ボランティア団体の方々には、濡れ新聞紙の作成、苗木の移し替え、植樹指導、各班のサポートをお願いすることを考えている。

（今後、人員配置等を検討する中で他の役割をお願いすることもある。）

# 「オオクワガタの棲める森づくり」

## 植樹祭実施配置図

箕面国有林273林班 (縮尺: 1/2,500)



凡例	
植樹箇所	
式典会場	
園路(車通行可)	
道路(市道)	